

# 夢ひろく

北海道手稲養護学校三角山分校

令和7年度 学校だより

第5号

令和8年3月24日(火)発行



## 1年を振り返って

校長 星野 健史

三角山分校には、独立行政法人国立病院機構北海道医療センターに入院している児童生徒が多く在籍しています。分校は北海道医療センターと廊下でつながっており、専門的なりハビリや治療を受けながら学び続けることができる病弱特別支援学校です。

令和7年度、三角山分校では「一人一人の意欲を高め、可能性を開花させる教育実践（在校）」と「児童生徒主体の授業に努め、前籍校と連携した教育実践（訪問）」を重点目標に掲げ、学びの充実に取り組んできました。

入院中の児童生徒は外出の機会が限られるため、どうしても社会経験が少なくなりがちです。そこで、先生達はICTを積極的に活用し、社会につながる学習の機会を広げてきました。たとえば、分身ロボット「OriHime」を使ったCAFÉでの接客実習や、メタバース空間（クラスター）で全国の病弱特別支援学校等と交流する活動を進めてきました。また、昨年度に続き、今年度もさっぽろ雪まつり実行委員会のテレビ局の皆様のご理解とご協力をいただき「さっぽろ雪まつり」の会場からタブレットでLIVE配信を行いました。本校だけでなく、全国の特別支援学校や病院・自宅で訪問教育を受けている児童生徒にも参加を呼びかけたところ、50名以上が集まり、雪像を見ながら交流することができました。

重点目標である「可能性を開花させる」には、学校での学びを通して「自分の得意なこと」や「興味のあること」を実感することが大切です。他の誰かと比べる必要はありません。「自分の強みを見つけ、それをどのように社会で生かせるかを考える中で、小さな成功体験を積み重ね、自信を育んでくれました。地域の皆様のご理解とご協力のおかげで、児童生徒が「学びの手応え」を感じる機会を多く得ることができました。深く感謝申し上げます。





# 卒業証書授与式

3月14日(土)、卒業証書授与式を行いました。今年も在校生代表による送辞と卒業生代表による答辞があり、これまでの学校生活を振り返るとともに、感謝や決意が伝わる式となりました。来賓の皆様、保護者の皆様、教職員に見守られ、あたたかな雰囲気の中で卒業生を送り出すことができました。また、PTAより卒業記念品をいただきました。本分校での学びや経験を大切に、それぞれの進む道で活躍してくれることを願っています。



## 卒業生の進路

	高等部へ進学	継続療養 (北海道医療センター)	大学進学
中学部	1	-	-
高等部	-	1	2

## 転出する職員

校長 星野 健史 (北海道新篠津高等養護学校)  
 事務長 風間 康平 (北海道札幌西高等学校)  
 教諭 小柳 博靖 (退職)  
 支援員 湯岡 修 (退職)

## 4・5月行事予定

4月9日(木)	入学式・始業式
4月10日(金)	訪問教育学級 始業式
4月17日(金)	児童生徒会オリエンテーション
5月1日(金)	新入生歓迎会

北海道手稲養護学校 三角山分校 ~日々の様子などをウェブページで発信しています~ [三角山分校](#) 検索

〒063-0005 札幌市西区山の手5条8丁目1-38 電話 011-633-3020 FAX 011-633-3023  
 学校代表メール sankakuyama-z0@hokkaido-c.ed.jp  
 Web ページ <http://www.sankakuyama.hokkaido-c.ed.jp>